

2016年度 灘中入試 合格者数45名・合格率65%達成！！

希学園が灘中入試に強い「3つの理由」を教えます！



株式会社 希(のぞみ)学園(本社:大阪市北区 理事長 前田卓郎・学園長 黒田耕平/以下「希学園」)では、2016年度 灘中入試において、合格者数45名・合格率65%という驚異的な合格実績を達成いたしました。

この合格実績は、他塾では決して真似のできない希学園独自の指導・取り組みによって達成できた結果であると考えております。

そこで、この合格実績を導いた、希学園が灘中入試に強い「3つの理由」をご紹介します。

希学園が灘中入試に強い 「3つの理由」

1. 新学年が始まる2月から灘中入試対策を実施！

希学園灘コースでは2月から1年間かけて灘中入試対策を行います。早い時期から灘中入試対策を実施することにより、灘中入試に対する長所や短所を洗い出し、じっくり指導を行っていく体制を整備しています。

また、灘中を目指す生徒が早い時期から集合して学習していくことで、競争原理が働くだけでなく「皆で頑張って勉強して灘中に合格するんだ！」という仲間意識も芽生えます。こうした意識が最終的に強い集団を作り上げていく礎となります。具体的には以下のような講座を実施しています。

■志望校別特訓 灘コース

近年の灘中入試の傾向を分析し、3教科ともに具体的な対策を2月から行います。単元別、難易度別に構成されたカリキュラムで、1年間かけて灘中入試に対応できる力を伸ばしていきます。

■春期講習 灘コース

春休み期間中も灘コースは独自のカリキュラムを使用し、灘中入試対策を実施いたします。普段の授業ではなかなか出来ない取り組みも実施し、思考力や作業力を伸ばすプログラムも用意しています。

■灘中トップ合格養成講座

毎週第2日曜日に、灘中入試において単に合格を勝ち取るだけでなく、上位合格を目指した授業を実施いたします。灘中入試の最高難度まで踏み込んだ内容となっています。

■最高レベル演習

国語と算数は毎週土曜日、理科は平日に実施しています。国語は記述力向上に特化した演習内容、算数、理科は難易度の高い頻出問題を中心とした演習内容で、灘中を目指す上で大切な力を育てていく講座です。

上記以外にも、志望校別特訓ダイジェスト(2～6月)、夏期講習灘コース(7～8月)、灘コース夏期合宿(8月)なども実施いたします。

2. 年々進化する教材、カリキュラム！

灘中入試の傾向は近年大きく変化しており、それに合わせた教材での学習が不可欠になってきています。

希学園では灘中入試の傾向を徹底的に分析し、毎年内容を更新しています。

また、希学園では模試の作成にも力を入れており、本番の灘中入試の傾向に近づけた模試を作成しています。

年3回実施する「プレ灘中入試」も本番の灘中入試に合わせた傾向、難度で作成しているため、実際の灘中入試の結果と非常に相関性の高い模試となっています。

2015年度 灘中学校入試問題 理科

希学園「小6第1回プレ灘中入試 理科」(2014年5月5日実施)
希学園「小6灘コース 理科 大晦日特訓 2014年度模試重要題」

的中

設問における条件設定から図まで一致！
5月のプレ入試で出題し、大晦日にも重要な問題ということで復習もしました！

3. 講師の指導力も自信あり！

希学園灘コースでは、灘中入試の傾向を研究し続ける一流の講師陣が指導を行います。分かりやすく熱意あふれる授業で生徒の学力を伸ばしていきます。また、灘中入試で合格を勝ち取るためには、学力だけでなく常識や精神力などの人としての力も必要です。希学園では塾内での生徒の様子もしっかりと管理し、人としての力を伸ばしていくことにも力を入れて指導しています。



学園長 / 算数科 黒田 耕平

長年の経験に裏打ちされた情熱の灘コース指導でこれまで多数の灘中合格者を輩出。2009年より希学園学園長に就任した後も自ら灘中受験指導の第一線に立ち、塾生に一生懸命にやり切るこの大切さとその先にある合格・成長の喜びを伝え続けている。



小6灘コース統括 / 算数科 松田 景人

希学園出身。小6時に算数オリンピックにて「金メダル」を獲得した後、灘中・高に進学。算数の面白さを伝え、一人でも多くの後輩を灘中合格に導くために厳しさの中にも愛情あふれる授業を展開中。



理科 佐生 浩一郎

灘中理科を知り尽くした男。作成した灘中模試からの的中も多数。的確な分析力だけでなく、一人ひとりの生徒の個性を活かしながら灘中合格へと引っ張り上げる情熱もまた希学園トップクラス。希学園卒業後も彼を慕う「希っ子」が多いのも魅力の表れである。



国語科 西川 和人

20年以上に渡り難関中の入試指導を手がけている。現在、希学園国語科責任者と灘コース国語科責任者を兼任。国語のエキスパートとして「特進クラスの国語」の執筆も手がける。歯切れのいい語り口調と卓越した論理的な指導は生徒だけでなく講師陣からも目標とされる存在である。



算数科 網盛 正

灘中・高へと進学し現在灘をはじめとする最難関中対策教材の作成も多く手がける。またその活動は希学園内だけでなく、「中学への算数」執筆者でもある。毎年、難関校の出題のほぼすべてを解きつくしており、算数の研究にける情熱と能力は希学園でもトップレベル。



算数科 民野 卓

灘・甲陽の算数のスペシャリストがいよいよ希学園に登場。関西受験界で知らぬ者のない超有名講師。わかりやすい授業は当たり前。感動あふれる授業は、子供たちの心をゆさぶり、第一志望校合格までの針路をはっきりと示します。



理科 江見 貴之

希学園出身。灘中理科に求められる難解な内容を独特の視点から切り崩していく。その独創的な切り口は子供達の知的好奇心をくすぐり、彼の授業を楽しみに通う子供も多い。これからの希学園理科を背負う逸材。



国語科 齋藤 有哉

東京大学文学部から京都大学大学院へと進む。難易度の高い問題に対する解説力はベテラン講師からも一目置かれる存在。知的好奇心をくすぐり、国語に興味を持たせて確実に力をつけていく。一見おとなしそうに見えるが、生徒の前では氣迫溢れる授業を展開している。



国語科 富田 景輔

希学園を卒業後、灘中・高に進学。子どもの目線に立って行われる、平易でかみくだかれた解説はわかりやすいと定評がある。持ち前の明るさと情熱を武器に、子どもたちをやる気にさせて国語力を引き上げていく。

希学園では「灘中合格」に向けた講座やイベントをたくさんご用意し、灘中合格を勝ち取っていただくための万全の対策をご用意しております。希学園の灘中合格に向けた指導体制におまかせください！ スタッフ一同、全力で頑張ります。

株式会社 希学園 <http://www.nozomigakuen.co.jp/>

公式Facebook : <http://www.facebook.com/nozomigakuen>

その他中学受験塾に関する取材や教育問題に関する取材等、お気軽にお問い合わせください。

【関西広報担当 樋谷(つちたに) まで】

■本社

〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2丁目4-12

電話(06)6371-0220 FAX(06)6371-0230

【首都圏広報担当 笹山(ささやま) まで】

■目黒教室

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1

電話03-5449-7388 FAX(03)5449-1915